

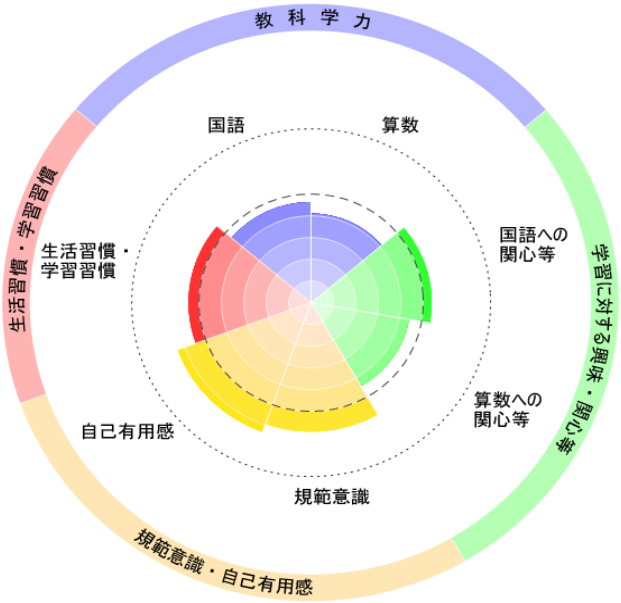
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策
国語	○ことわざ問題は、正答率が高かった。 ○書くことについては、全国平均よりも少し良くできていた。 ●話の要点を捉えたり、適切な資料を見つけて説明したりすることに弱みが見られた。 ●同音異義語を正しく書くことに弱みが見られた。	・月に1回行っている書き取り会などの、基礎基本の定着を図る取り組みは、継続していく。 ・要点をまとめたり、別の言葉で言い換えたりする活動を増やしていく。
	○台形の意味・加減の計算の仕組みの理解、1つのグラフの読み取りは、よくできている。 ○具体的な生活体験に基づく問題を考えることはよくできている。 ●答えを求める際の考え方や理由などを、条件をもらさず、順を追って説明することや複数の資料を関連づけて読み取ることが苦手である。 ●単位量当たりの大きさや割合についての理解。	・月に1度行っている計算会などの、基礎基本の定着を図る取り組みは、継続して行っていく。 ・授業の中で、ペアでお互いの考えを説明する機会を増やす。その際に、言葉や図を使って説明できるように言葉をかけていく。 ・理科や社会科などでも、複数の資料を関連付けて考えられるように、単元間の関連を明確にする。

(2)生活意識調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策
	○自分には良いところがあると思っている子どもが多い。 ○地域の行事に、進んで参加し、地域や社会の問題に関心がある子どもが多い。 ●自分で計画を立てて勉強したり、家庭学習時間を1時間以上したりする子どもが少ない。 ●10分以上読書をしている割合が高いが、実際は学校での読書タイム10分以外は読書をしていない子どもが多い。	・家庭学習では、宿題だけでなく、学年に応じた自主学習にも取り組ませるようにする。また、自主学習の例などを紹介する。 ・友達に本を紹介したり、味見読書を行ったりして、本に親しむ機会を増やす。

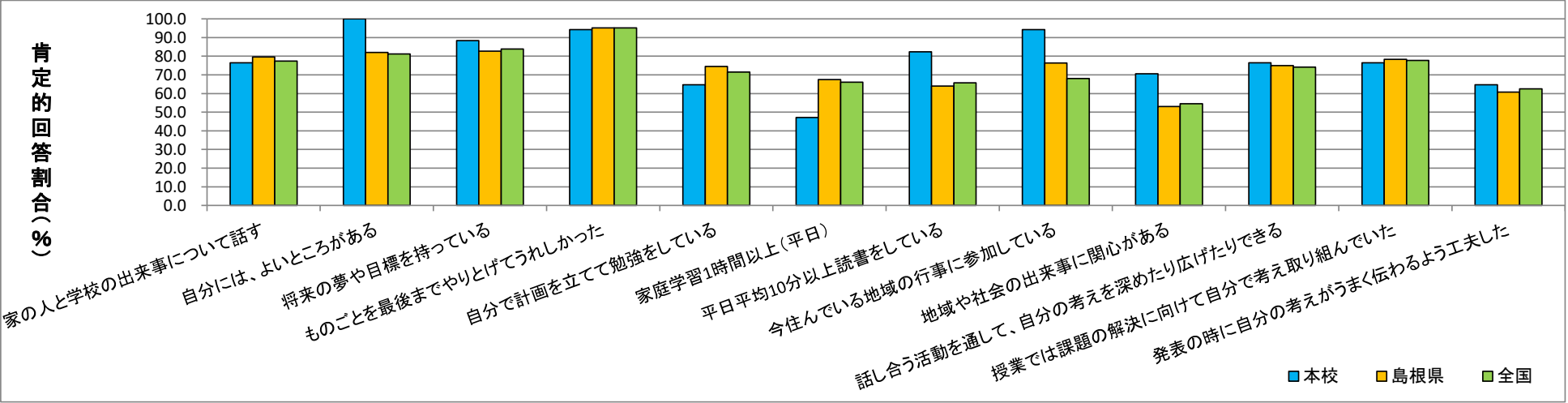
(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・様々な学習や活動の中で、言語活動を充実させていく。また、自分の考えを相手に分かりやすく説明する場を増やしていく。
・小規模校の利点を生かして、一人一人の能力に応じた学習支援を行っていく。

(3)意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



【参考】

○平均正答率

	本 校	松江市	島根県	全国
国語	61	63	62	63.8
算数	59	66	65	66.6

受検者数 17 人
※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示して下さい。